

# Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科		
科目名称	卒業研究						授業形態	演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	遠藤 晃							ICT活 用	○	
授業概要	<p>大学教育の総まとめとして、学生は専門の学問分野に応じた研究課題を設定し、卒業論文としてまとめていく。各学生の問題関心を学問的な問題意識へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、解読の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導いていく。</p>									
関連する科目	子ども教育専門ゼミIIを並行して行う									
授業の進め方 と方法	各自のテーマに沿って、データを収集し、卒業研究をまとめる。									
授業計画 【第1回】	第1回：オリエンテーション									
授業計画 【第2回】	第2回：各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方									
授業計画 【第3回】	第3回：卒業研究のテーマ設定(1)									
授業計画 【第4回】	第4回：卒業研究のテーマ設定(2)									
授業計画 【第5回】	第5回：各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(1)									
授業計画 【第6回】	第6回：各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(2)									
授業計画 【第7回】	第7回：個別指導(1)（先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について）									
授業計画 【第8回】	第8回：個別指導(2)									
授業計画 【第9回】	第9回：個別指導(3)									
授業計画 【第10回】	第10回：個別指導(4)									

授業計画 【第11回】	第11回：個別指導(5)
授業計画 【第12回】	第12回：個別指導(6)
授業計画 【第13回】	第13回：個別指導(7)
授業計画 【第14回】	第14回：個別指導(8)
授業計画 【第15回】	第15回：中間報告会(1)
授業計画 【第16回】	第16回：中間報告会(2)
授業計画 【第17回】	第17回：中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正
授業計画 【第18回】	第18回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(1)
授業計画 【第19回】	第19回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(2)
授業計画 【第20回】	第20回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(3)
授業計画 【第21回】	第21回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(4)
授業計画 【第22回】	第22回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(5)
授業計画 【第23回】	第23回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(6)
授業計画 【第24回】	第24回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(7)
授業計画 【第25回】	第25回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(8)
授業計画 【第26回】	第26回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(9)
授業計画 【第27回】	第27回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(10)

授業計画【第28回】	第28回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(11)
授業計画【第29回】	第29回：卒業論文発表会(1)
授業計画【第30回】	第30回：卒業論文発表会(2)
授業の到達目標	1. 4年間の学習の集大成として、自らの関心に沿って設定した研究テーマについて卒業論文を完成させる。 2. 卒業論文に取り組む過程で、子どもの発達にかかわる諸問題について考察を深める。
学位授与の方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	フィールドワークのプランニング、引用論文の検索と読み込み、データの整理と解析、文章の作成及び構成など
授業時間外学習【復習】	フィールドワークのプランニング、引用論文の検索と読み込み、データの整理と解析、文章の作成及び構成など
課題に対するフィードバック	課題については、ゼミの中で解説する。
評価方法・基準	卒論への取り組み、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	各自のテーマに応じて適したテキストを使用する
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要がある。
備考	